

生涯学習と文化活動



目次

口 絵

刊行のことば

上田市誌刊行会長

上田市長 平尾哲男

監修のことば

東京大学名誉教授・前国立歴史民俗博物館長 石井 進

まえがき

凡 例

はじめに 1

第一章 通俗教育の時代―明治から大正へ―

第一節 夜学で学ぶ青年たち 5

御所村で郷倉を蛭学寮に 手塚夜学所の規定 夜学の経費 別所村青年会夜学部を創立

学習科目と試験問題 学習としての演説・討論 二〇歳男子の学力検査 夜学から補習学校へ

豊里村三区連合夜学会 西塩田連合夜学会

第二節 青年会の学習と文化活動 11

目次 一 読み、書き、話す、青年たち 11

青年会の目的と活動 別所談話会の発足 神川青年会の神川文庫 大屋に文章発句の会

中之条青年会が『千曲藻』創刊 『千曲藻』の作品から

二 文庫・図書館の運営……………15

大正十一年度の図書館状況 小牧区が共立図書館創立 図書館の管理権区から青年会へ

西塩田青年団の巡回文庫 修養としての読書

第三節 婦人会の学習活動……………20

一 地域婦人会の発足……………20

婦人談話会を結成 婦人談話会への期待と批判 明倫堂で「発音器」を聴く

地域婦人会の誕生

二 上本郷婦人会……………23

上本郷婦人会の創立 常例会での談話・講和

第四節 地域出版の始まり……………26

教育関係図書の出版 養蚕書の出版 文芸関係の出版物 『信州文壇』の創刊

新聞の読者ふえる 新聞各紙の創刊 明治期の印刷会社 『上田郷友会月報』の創刊

第二章 社会教育の時代―大正から昭和戦前期へ―

第一節 「時報」創刊と青年の主張……………37

「時報」続々と創刊 『塩尻時報』の発刊 投稿を呼びかける『浦里村報』

創刊当時の役員たち 「時報」創刊は時代の要求 広報と修養に意義 村が「時報」に反対

村の自治に貢献 読みやすい紙面を工夫

第二節 昭和初期の新聞

一 『上田青年』創刊

上田市連青の『上田青年』 上田市連青の目的と組織
編集・発行に苦心する

二 『上田毎日新聞』の発行

『上田萬朝報』の創刊 『上田毎日新聞』に改題

第三節 青年の読書

一 文庫・図書館の利用

鈴子文庫の経費 小牧図書館利用状況 巡回文庫も利用
北向観音に新聞縦覧所 別所文庫の利用傾向

二 村塾

千曲村塾の開設 天皇中心に世界文明建設 午前五時に起床 日中戦争始まる

三 青年たちの輪読会

神川青年会の輪読会 『家の光』との競合 輪読会の方法に疑問 男女青年の読書傾向
神川図書館利用状況

第四節 自由大学と市民大学

一 自由大学の開講まで

ある農村青年の悩み 土田杏村からの返信 哲学講習会開催 自由大学へ発展
自由大学事務所を開設

二 自由大学の講義と運営	60
自由大学の開講 ある聴講者の感想 高倉輝の講義	
『自由大学雑誌』を創刊 上田自由大学の消滅	
三 上田市民大学	65
上田市民大学開講 聴講生のノートから 三期三年の市民大学へ 各講師の講義内容	
第二年度から課外講座も 聴講者の職業と学歴 第三年度以降の市民大学	
第五節 農民美術の学習	70
山本鼎のモスクワ土産 神川村の二青年が協力 農民美術練習所を開く 野の草花に学ぶ	
東京・三越で展示即売会 回覧雑誌『農美』	
第六節 公立図書館・博物館	77
一 上田市立図書館	77
明治期に図書館を望む声 明治記念館に図書室を 明治記念館を市立図書館に	
「図書館報」を創刊 巡回文庫スタート 全国雑誌展覧会開催 書庫を増築 官憲による図書の没収	
二 村立浦里図書館	82
浦里青年会が図書館建設計画 村民に貸し出しをはじめる 村長が館長に就任	
図書館建設運動を展開 予算書に見る図書館費 文部省から選奨される 県立図書館の指導	
三 上田市徴古館（博物館の前身）	86
徴古館の開館 織田信長の遺品などを展示 観覧料と開館時間 昭和十年までの観覧者数	

第三章 生涯学習の時代―昭和戦後期から平成へ―

第一節 社会教育の民主化……………91

一 GHQの政策と図書館……………91

GHQによる出版物の没収 リーディングルームの開設

二 終戦直後の図書館利用……………93

入館者が激増する 鈴子文庫の読者

三 公民館の発足……………95

県が公民館設置を奨励 中塩田公民館創設 神科公民館もスタート 神川公民館と青年団

神川公民館の組織 公民館設立状況

四 戦後の青年団……………98

国が青年団を再建 豊里村青年団の組織と事業 長野軍政部の指導 スポーツ、文化活動等

上田市連青指導者研修 上田市連青の青年研究集会 塩田町青年団一〇周年

第二節 PTA母親文庫の活動……………104

一 配本所の開設……………104

PTA母親文庫のはじまり 上小配本所開設 配本会場にあふれる人と本

暮らしの中の読書 母親文庫の体験から

二 新図書館建設運動……………109

市立図書館新築を陳情 バザーで建設資金を

三 創作グループ・読書会……………110

(1)	創作グループ	110
	創作グループの誕生 例会と作品集	
(2)	読書会	112
	母と子の読書 読書会が盛んになる	
四	社会教育大学	114
	「地域への提言」から 社会教育大学開講 研究科、ゼミナール新設	
	一〇年誌『女性が変わる』出版 創立二〇年記念出版	
第三節	社会教育施設の充実	117
一	山本鼎記念館	117
	記念館設立を提唱 神川に推進委員会発足 教委、記念館設立を推進	
	多彩な事業と市民の利用	
二	博物館	120
	櫓が博物館だったころ 新博物館の建設 昭和四十年新館落成 郷土誌シリーズ刊行	
	講座・講習会も開催	
三	信濃国分寺資料館	123
	信濃国分寺跡発掘調査 信濃国分寺資料館開館 『展示解説』などを刊行	
	考古学教室等も開催	
四	図書館	124
	新図書館建設へ市民運動 敷地・建設費等決まる 新図書館オープン	
	貸し出し順調に伸びる 情報ネットワーク稼働 図書館利用者団体	
五	公民館	128
	青空公民館の時代 独立の建物を持つ 公民館へ市民の声 六公民館を建設	

自治会ごとに分館設置 多彩な事業を展開 公民館の利用団体

第四節 美術館・文化団体

一 美術館の設立

常楽寺美術館 尾澤木彫美術館 信濃デッサン館・無言館 石井鶴三美術館

二 文化団体

上田郷友会上田部会 上小郷土研究会 上田民俗研究会 上田市民文化懇話会
東信史学会と『千曲』 新上田自由大学 塩田文化財研究所 塩田の歴史・文化を学ぶ集い
上田市文化芸術協会

第五節 生涯学習・文化行政

一 生涯学習市民大学の開講

郷土の歴史講座 自然に親しむ教室 健康・スポーツ講座 生き方講座
塩田レディース講座 川西文化大辞典 朗読ボランティア養成講座 上田映像講座

二 生涯学習課

基本目標を設定 出前ときめきのまち講座 社会教育施設等

三 文化課

基本目標と主な事業 文化公演事業 文化財の調査・保護・活用 文化課を生涯学習課へ統合

151

148

146

146

135

133

133

第四章 スポーツ活動のあゆみ

第一節 スポーツ活動のはじまりと普及―明治から昭和初期へ― 157

一 野球（硬式） 157

野球のはじまり 中学校野球部の誕生と活躍 社会人野球への発展

二 庭球 160

庭球のはじまり 庭球の広まりと女学校の貢献

三 水泳 162

水泳のはじまり プールのさきがけ

四 スキー 163

スキーのはじまり 菅平でのスキー

五 スケート 165

スケートのはじまり 常田池リンク 須川湖で全日本スケート大会

六 陸上競技 168

陸上競技のはじまりと普及 連合運動会と競技内容 陸上競技盛んになる

スポーツ活動のはじまりと普及

第二節 戦時下のスポーツ活動の振興と普及―昭和初期から終戦へ― 171

一 相撲 171

相撲のはじまり 学校相撲の普及

二 剣道 172

三	剣道のはじまり	学校体育としての剣道の発展	174
三	柔道	柔道のはじまり	175
四	弓道	弓道のはじまり	175
四	弓道	上田弓道場「志穀堂」	175
五	ラジオ体操	ラジオ体操の誕生	177
五	ラジオ体操	ラジオ体操会の普及	177
五	ラジオ体操	学校体育としてのラジオ体操	177
五	ラジオ体操	戦争とラジオ体操	177
第三節	戦後のスポーツ活動—終戦から東京オリンピックへ—		179
一	高等学校体育連盟、高等学校野球連盟、中学校体育連盟など学校体育の振興		179
一	高校野球の発展	ハンドボール選手権大会	179
一	高校野球の発展	中学校部活動の充実と活躍	179
一	県中学校総合体育大会優勝記録		179
二	各種競技の充実と施設の整備		182
二	各種競技のはじまりと充実	スポーツ組織の確立と施設整備	182
三	一般の愛好者によるスポーツ活動の普及		186
三	健康・楽しみのスポーツ活動		186
第四節	みんなのスポーツ時代—東京オリンピックから平成へ—		187
一	スポーツ施設充実のあゆみと利用		187
二	スポーツ行事などの運営とスポーツ人口の拡大		192
(1)	スポーツ活動のひろがり		192
(1)	早起き野球	県民運動競技大会・さわやかスポーツ祭	192
(1)	早起き野球	スポーツ上田市民の集い	192

(2)	スポーツ都市宣言と活動の充実	193
	スポーツ都市宣言 姉妹都市とスポーツ交流 市民体力づくりの日	
	上田古戦場ハーフマラソン 市民マレットゴルフ ソフトボール シルバースポーツ	
	ビーチバレーボール スポーツ少年団	
三	スポーツにおける指導組織の確立と指導のあり方	199
(1)	みんなのスポーツ時代の課題	199
	体育指導委員の活動 スポーツに関する市民の意識調査 みんなのための生涯スポーツ	
(2)	今後のスポーツ活動のあり方	209
	スポーツ活動への提言 生活文化としてのスポーツ	
	おわりに	212
(1)	生涯学習・文化活動の現況	212
(2)	スポーツ活動の現況	217
(3)	生涯学習都市宣言の制定	219
	執筆分担	
	資料提供者・協力者	
	参考文献	
	あとがき	
	上田市誌の編さん組織	
	『上田市誌』全三冊の編成と書名	

上田市誌 近現代編(5)

生涯学習と文化活動

発行 平成十三年三月一日

編集者 上田市誌編さん委員会

発行者 上田市

上田市誌刊行会

上田市大手一―一―一六

電話 〇二六八―三二四一〇〇

印刷所 信毎書籍印刷株式会社

長野市西和田四七〇